

【令和4年度 普通科2年生近畿研修に行ってきました】

松江北高校の新しい魅力化の取り組みの一環として、普通科2年生が10月5日（水）から7日（金）に2泊3日で近畿研修を行いました。訪問させていただいた各事業所、各大学のご協力のおかげで生徒たちにとって大変充実した研修にすることができました。

松江北高普通科にとって初めてとなる近畿研修には大きく2つの目的があります。まず1つ目は、施設見学だけにとどまらず、自らの心身ともに動かすような体験プログラムや本校卒業生との交流および大学見学を含む研修全体を通して、自己の生き方在り方についての自覚を深め、価値観を拡げ、将来の進路選択についてよりよく考える機会とすること、つまり「自分で学ぶ」ことです。受け身ではなく、複数のコースから自分の興味関心や、進路希望から1つ選択をして参加しました。2つ目は、集団行動を通して相互理解を深めるとともに、集団の規律や秩序を守る態度を養うことです。2年学年会では、入学時より、「3つのR」＝「ルール（Rule）」、「リレーション（Relationship）」「R……（自分で考えた）」をキーワードに、学校生活の基盤を整えるべく取り組んできました。そのことが、この研修を通して、具体的な形として表せたのではないかと考えます。また、生徒実行委員を募り準備をする中で、生徒たちが自ら「新しく自分を塗り替える（Repaint）」、「先人に敬意を払う（Respect）」という「R……」、この研修の目標を考えてくれました。準備段階からプログラムの実施の間、生徒の活躍の場面を多く取り入れ、生徒たちが「主体的に」参加する研修にすることができました。



初日は、朝7時にバス6台でクラス毎に出発しました。バス車内ではDVDを見ながら約4時間で宿泊先である大阪第一ホテルに到着しました。大阪駅のすぐそばで、ビルが乱立する立地に生徒たちは早速歓声をあげていました。大きな部屋で昼食をとったあと「2025年大阪万博プロジェクト」についてお話を伺いました。万博で新しい技術が紹介され、それが当たり前になることや高校生でも参加できる「TEAM EXPO 2025プログラム」など、自分たちの生活と万博は、実は密接に関わっていることを学びました。そのあとの「Table for Two(TFT)プログラム」では、名古屋大学の学生に“世界が抱える食問題”に学生の方が普段実行している活動について教えていただきました。後半では、大学生の方にサポートしていただきながら“高校生でも実現可能なTFTプロジェクト”についてグループで考えました。適切なカロリーで栄養バランスがとれ、1食につき20円の寄付ができるTFT弁当を食べた後は、大学生講話でした。近畿地方に進学した2回生3回生が16名も参加してくださり、高校時代の思い出や大学生活についてたくさん教えていただきました。今後大学受験に臨む2年生たちに「できるだけ志望は高く最後まであきらめず頑張ってください」とエールを送っていただきました。

2日目は、7台のバスに分かれてコース別研修を行いました。チームビルディングコースでは、高さ8mのアスレチックコースでお互いの声を掛け合いながら「自分で一歩踏み出し」て挑戦することの大切さや仲間を励ますことの大切さも学びました。生徒たちはそれぞれの体験や担当の方のお話を通して世界は広いということを感じることができ、価値観の境界を拡げることができました。夕食は大阪湾サンタマリア号に乗船しディナークルーズを楽しみました。観覧車や大阪湾の夜景をバックにそれぞれ写真を撮っていました。

3日目は、大学見学を行いました。バス6台に分かれて京阪神の7大学9キャンパスに見学に行き、大学概要説明や学食利用、自由散策を行いました。あいにくの雨模様でしたが、高校の校舎とはずいぶん違う大学のキャンパスにそれぞれ思いを馳せていました。1日目夜に実施した大学生講話と併せ、高校卒業後の姿を具体的にイメージできているようでした。大学の見学後は万博記念公園（大阪）や清水寺界限（京都）などで、両手いっぱいにお土産を買う姿も見られました。

生徒たちは多くのプログラムを通して広い世界を知り、自分の将来について考え、また友人たちと楽しい時間を持ち、大変充実した研修にすることができました。来年度は、コース別研修もさらに充実させ、他校では経験できない大変有意義な研修を提供する予定です。最後になりましたが、この研修旅行にご協力いただきましたすべてのみなさまに感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

初日 大阪万博プロジェクト、Table for Two プログラム



初日 卒業生講話



2日目 コース別研修、大阪湾サンタマリア号ディナークルーズ



3日目 大学見学

